

第4学年体育科学学習指導案

日時：令和元年11月6日（水）5校時  
 場所：品川区立戸越小学校 体育館  
 対象：第4学年2組 28名  
 授業者：T1 山野 佳祐  
 T2 平野 秀馬

研究テーマ

進んで運動に取り組む児童の育成  
 ～学び合い、達成感の味わえる体育学習～

1 単元名 器械運動「跳び箱運動」

2 運動の特性

機能的特性	・いろいろな動きに楽しく取り組んで、技を身に付けたり、新しい技に挑戦したりするとき に楽しさや喜びを味わうことのできる運動である。
構造的特性	・より困難な条件の下でできるようになったり、より雄大で美しい動きができるようになったり する喜びや楽しさがある運動である。
効果的特性	・仲間で互いに励まし合い、助け合って、学習を進めていくと楽しい運動である。

3 単元の目標

知識及び技能	切り返し系や回転系の基本的な技、その発展技の行い方を知るとともに、その技を身に 付けることができるようにする。
思考力、判断力、表現力等	自己の能力に適した課題を見付け、技ができるようになるための活動を工夫するとともに、 考えたことを友達に伝えることができるようにする。
学びに向かう力、人間性等	運動に進んで取り組み、きまりを守り誰とでも仲良く運動をしたり、友達の考えを認め たり、場や器械・器具の安全に気を付けたりすることができるようにする。

4 評価規準

	知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
単元 の 評価 規 準	○切り返し系や回転系の基本的な技や発展した技に取り組み、自分の力に合った技ができる。	○自分に合っためあてをもって、学習に取り組んだり、教師や友達の助言、学習資料を活用して、自分のめあてに応じた練習の場を選んだりしている。	○運動に進んで取り組もうとしたり、安全に気を付け、友達と励まし合って運動しようとしたり、協力して準備や片付けをしようとしたりしている。
学習活動に即した評価規準	①自己の能力に適した切り返し系や回転系の基本的な技や発展技に取り組み、技を身に付けることができる。 ②技のポイントを理解し、自己の能力に適した場を選択し、練習に取り組むことができる。	①自分に合っためあてをもって運動している。 ②教師や友達からの言葉掛けや資料を活用して運動している。 ③自分の課題に応じた練習の場や段階を選んでいる。	①跳び箱運動に興味をもち、進んで運動に取り組もうとしている。 ②友達と励まし合ったり、教え合ったりして練習しようとしている。 ③友達と協力して、道具の準備や片付けをしようとしている。

## 5 児童の実態・アンケート結果

事前に行ったアンケートでは、跳び箱運動を「好き・やや好き」と答えた児童が7割、「ややきらい・きらい」と答えた児童が3割であった。「ややきらい・きらい」と思う理由の多くは、「怪我をしそうで怖い」「失敗すると恥ずかしい」ということから、嫌いな児童に対しては、できるレベルから取り組ませることで恐怖心をなくしていくことが必要だと考える。また、楽しいと感じる時は「技ができた時」「記録が伸びた時」と回答する児童が多いことから、児童自身ができたことを実感し、達成感を感じられるような授業をしていくことが必要であると考え。「どうしたら技ができるようになったり上手になったりすると思うか」という質問に対しては「練習する」という回答が一番多く、次に「アドバイスをもらう」「手を上手に使う」という回答が多かった。このことから、ただ練習するのではなく、技のポイントを押さえることとともに、伝え合いができる場をつくることも必要であると考え。

本学級の児童は、3年時に跳び箱運動を通して、開脚跳び・台上前転は全ての児童が一度は挑戦をしているがこれらの技が一通りできた児童は2割程度であった。練習には意欲的に取り組む児童がほとんどであるが、技のポイントが分からずにただ跳び続けているという児童が多くみられる。そのため本単元では、児童が一つひとつの技のポイントを意識しながら練習できるよう、ワークシートや掲示物、学習構成の工夫をする。

## 6 分科会提案

### (1) 目指す児童の姿

- ・技のポイントを理解し、自分の能力に合った技を身に付けることができる児童（知識及び技能）
- ・自分や友達の課題を見付け、解決の方法や練習の場を考えるとともに、友達に伝えることができる児童  
(思考力、判断力、表現力等)
- ・友達と協力して、運動に積極的に取り組む児童（学びに向かう力、人間性等）

### ○個々の目指す児童の姿

- A 自分や友達の課題を見付け、自己の能力に合った練習の場を選んだり、技を身に付けたりすることができる児童
- B 自分の課題を把握し、自己の能力に合った練習の場を選ぶことができる児童
- C 自分の課題を知り、技に取り組んでいる児童

### (2) 分科会が考える目指す授業に向けた手立て

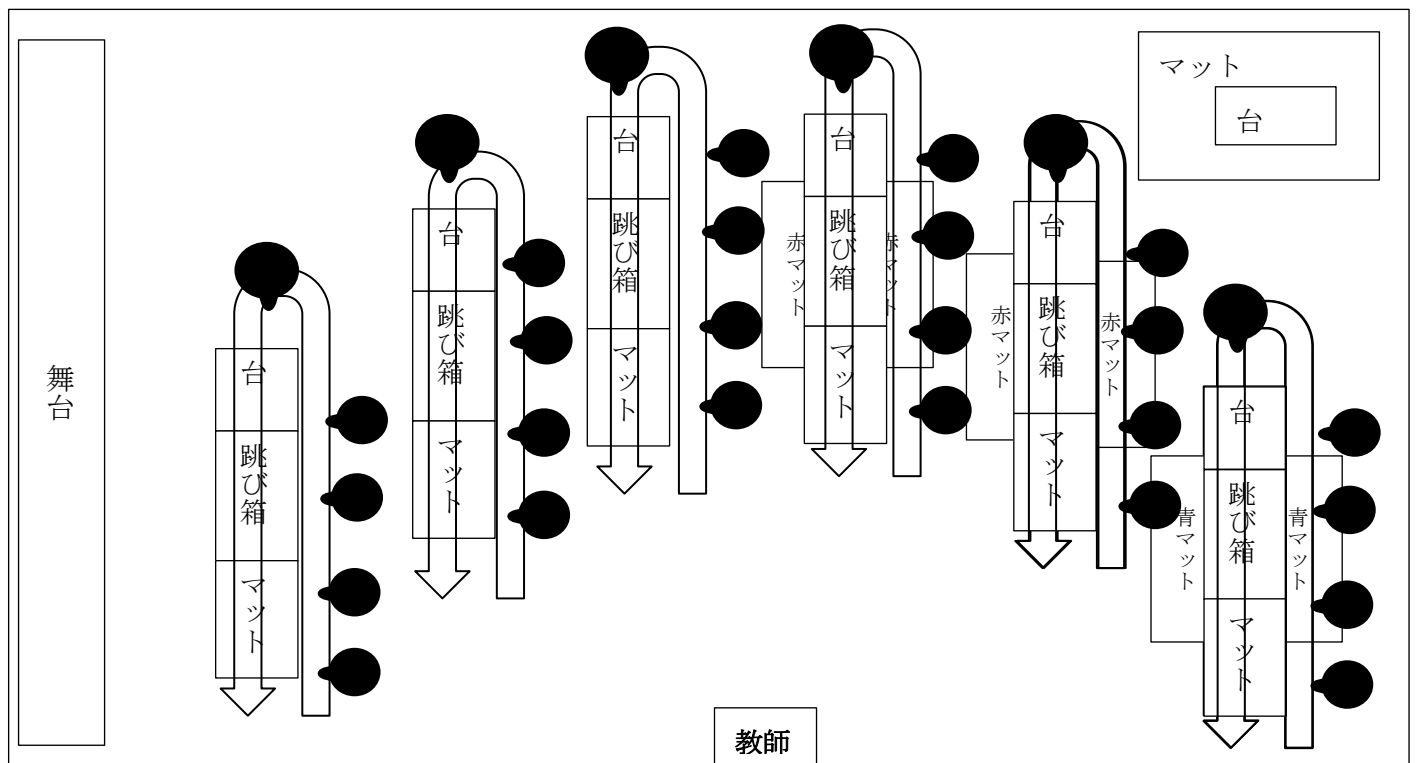
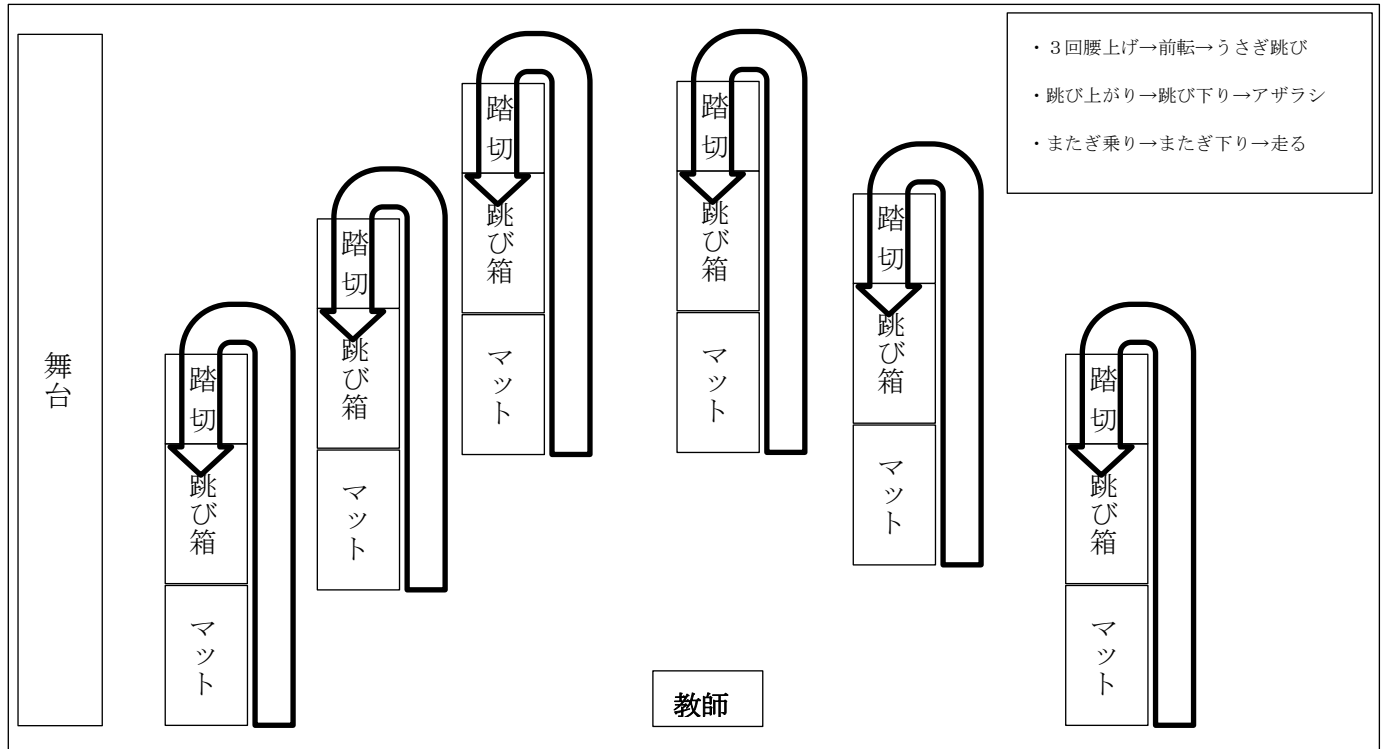
- ①子どもが楽しく学び、達成感をもてる授業に向けた手立て
- ②友達の良いところを見付け、学び合える授業に向けた手立て

# ①子どもが楽しく学び、達成感をもてる授業に向けた手立て

## 練習の場の工夫

教師が全体を見渡すことができるとともに、児童が自分の課題に合った練習の場を選べるような場を設けた。また、苦手な児童が課題に合った練習ができるよう「修業の場」(スモールステップで取り組める環境)を作り、意欲的に取り組めるような場を設定した。

感覚づくりの場では、感覚を掴むための様々な運動を設定した。毎時間取り組ませることで楽しみながら跳び箱に必要な感覚を養えると考えた。



## 一時間を二つに分けた授業構成

一単位時間の中で、「ジャンピングタイム」と「ローリングタイム」の二つの場を作り、繰り返し系の技と回転系の技の練習をそれぞれ行い、時間により場を交換する。これにより、場の設定を円滑にし、運動量の確保をする。また、「ジャンピングタイム」と「ローリングタイム」のそれぞれの技で別のめあてをもつことで、児童がめあてを達成できる機会が増え、より達成感を得ることができるような授業構成とした。

## 技のポイントと具体的なアドバイスの仕方の提示

学習カードに記載してあるポイントだけでなく、児童から出たアドバイスも提示し、付け加えていく。

【繰り返し系】（ ）は分かりやすい声掛け

	踏み切り	着手	突き放し	着地
開脚跳び	両足をそろえて、強く踏み切る。 (ドン) (トンはだめ)	跳び箱の奥側に、両手で一緒に手を着く。 (バン) (シュー、トンはだめ)	顔を上げて、手で強く突き放しとびこす。	膝を柔らかく曲げて着地して3秒静止する。 (トン)
かかえこみ跳び		跳び箱の奥側に両手で一緒に手を着く。膝を胸にすばやく引きつける。 (バン) (シュー、トンはだめ)	頭を起こす。 バンと手で強く突き放す。	

【回転系】（ ）は分かりやすい声掛け

	踏み切り	着手	回転	着地
台上前転	両足で強く踏み切り、腰を高く上げる。 (ドン)	跳び箱の手前側脇に両手を着いて、しっかりと体を支える。	あごを引いて頭の後ろを着いて、背中を丸めて前転する。 (クルリ)	膝を柔らかく曲げて着地して3秒静止する。 (トン)
膝伸台上前転		跳び箱の手前側脇に両手を着いて、しっかりと体を支え、腹の前に空間をあける。	あごを引いて頭の後ろを着いて、背中を丸めて膝を伸ばしたまま前転する。	

## ②友達の良いところを見付け、学び合える授業に向けた手立て

### 伝え合いの場の設定の工夫

第2・3時は、1人が技に取り組む際、同じ練習の場を選んでいる友達に「踏み切り、着手、空中姿勢、着地」の4観点に分かれてチェックしてもらおう。見てもらった後に、その4人はチェックした内容を伝えてるという流れにすることで、全員が伝え合うことができるようにする。第4時から第6時では課題に合わせた練習場に行き、見てほしいところを友達に伝え見てもらおう。その際の授業で見付けた自分の課題を友達に発表し、できていた場合は「グー」できていない場合は「チョキ」を出すことで伝えあいを行う。できていなかった場合には解決のためのポイントや課題に合った場で練習することを伝える。

### 学習カードの工夫

学習カードに全ての技のポイントをのせ、それを一人一人が持ち、友達に技ごとのチェックポイントを確認してもらおう。チェックから自分の課題が分かりやすくなるだけでなく、記載されていることをアドバイスのポイントとすることで、より主体的な関わりが生まれると考える。また、練習の場や技の習得のポイントもお互いに考えながら練習に臨むことができる。また毎時間練習した後は、学習カードにある図を見て振り返りポイントをチェックし、自分の成長を目で見て確認できると考えた。

7 単元指導計画

時	1	2	3
本時の主なねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>場の準備や片付けの仕方、学習の仕方について知る</li> <li>学習する基本の技を知り、やってみる（技調べ）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>切り返し系の技のポイントを知り、運動に取り組み、自己の課題を見付けることができる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>回転系の技のポイントを知り、運動に取り組み、自己の課題を見付けることができる</li> </ul>
学習活動	1 集合・整列・挨拶 2 学習のねらいや進め方を知る 3 準備運動をする・コーディネーション（クローリング、くの字、Sの字、ギャロップ走）		
	4 場の準備の仕方を知る 5 場の準備をする 6 感覚つくりの運動をする（わくわくタイム） 7 学習する基本の技を知り、やってみる（技調べ） 8 学習資料の使い方、学習カードの書き方を知る	4 場の準備をする 5 感覚つくりの運動をする（わくわくタイム） 6 切り返し系の技を知る 7 やってみる（ジャンピングタイム） 8 課題を見付ける	4 場の準備をする 5 感覚つくりの運動をする（わくわくタイム） 6 回転系技を知る 7 やってみる（ローリングタイム） 8 課題を見付ける
	9 整理運動をする 10 学習の振り返りをする 11 片付けをする 12 集合・整列・挨拶		
評価の重点	知識及び技能	①	①
	思考力・判断力・表現力	②	②
	学びに向かう力・人間性等	③	
児童の具体的な姿	<ul style="list-style-type: none"> <li>約束を守り、友達と助け合って技を練習しようとしている。</li> <li>運動する場を整備したり、器械・器具の安全を保持したりすることに気を配っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>開脚跳びのポイントを理解している。</li> <li>切り返し系の技の自分の課題を見付けることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>台上前転のポイントを理解している。</li> <li>切り返し系の技の自分の課題を見付けることができる。</li> </ul>
指導上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全な準備や片付けの仕方、運動の行い方について掲示資料を使いながら説明する。</li> <li>見合う活動がしっかりとできるように、見ている児童の立ち位置や見るポイントを説明する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習資料や映像を用いて、技のポイントを捉えさせる。</li> <li>自己の動きを客観的に捉え、課題を見付けさせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習資料や映像を用いて、技のポイントを捉えさせる。</li> <li>自己の動きを客観的に捉え、課題を見付けさせる。</li> </ul>

4	5	6 (本時)	7
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 繰り返し系の技の運動に取り組み、自分の課題を解決しようとする事ができる</li> <li>・ 回転系の技の運動に取り組み、自分の課題を解決しようとする事ができる</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自己の課題を解決しようとする事ができる。</li> </ul>	
1 集合・整列・挨拶 2 学習のねらいや進め方を知る 3 準備運動・コーディネーション (くの字、Sの字、ラディアン)			
4 場の準備をする 5 感覚づくりの運動をする (わくわくタイム) 6 ジャンピングタイム (繰り返し系の技の練習) 開脚跳び、かかえこみ跳びの中から、めあてに合った技の練習をする ローリングタイム (回転系の技の練習) 台上前転、膝伸台上前転の中からめあてに合った技の練習をする <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">前後半グループで分ける</div>		4 場の準備をする。 5 感覚づくりの運動をする。 (わくわくタイム) 6 練習してきた技の練習と確認 自分の課題に合った練習方法を選んで運動する。 7 練習の成果を発表する。	
7 整理運動をする 8 学習の振り返りをする 9 片付けをする 10 集合、整列、挨拶		8 整理運動をする 9 学習の振り返りをする 10 片付けをする 11 集合、整列、挨拶	
		②	
①		①	
		③	
①		③	
②		②	
②		①	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自己の課題に合った練習方法を選んでいる。</li> <li>・ 繰り返し系の技の自分の課題を解決することができる。</li> <li>・ 回転系の技の自分の課題を解決することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自己の課題に合った練習方法を選んでいる。</li> <li>・ 繰り返し系の技の自分の課題を解決することができる。</li> <li>・ 回転系の技の自分の課題を解決することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自己の課題に合った練習方法を選んでいる。</li> <li>・ 繰り返し系の技の自分の課題を解決することができる。</li> <li>・ 回転系の技の自分の課題を解決することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自己の課題に合った練習方法を選んでいる。</li> <li>・ 自分の苦手な技ができるようになる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習資料を用いて、児童の課題に合った練習方法を選ばせる。</li> <li>・ 自己の課題を意識しながらできているかをグループで見合うように声を掛ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習資料を用いて、児童の課題に合った練習方法を選ばせる。</li> <li>・ 自己の課題を意識しながらできているかをグループで見合うように声を掛ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習資料を用いて、児童の課題に合った練習方法を選ばせる。</li> <li>・ 自己の課題を意識しながらできているかをグループで見合うように声を掛ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習資料や映像をもとに、自分が取り組む技を選択させ、既習の技か発展技か、自己の力に合った技に取り組ませる。</li> </ul>

8 本時の展開（6／7時間）

(1) 本時の目標

【思考力、判断力、表現力等】自分の課題を解決しようとする事ができる。

【学びに向かう力、人間性等】約束を守り、友達と励まし合いながら練習することができる。

(2) 展開

時間	学習活動		○指導上の留意点 ◇評価 △支援を要する児童への手立て			
導入 12分	<p>1 集合・整列・あいさつ。</p> <p>2 学習のねらいや進め方を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">めあて 自分のめあてを達成するために場を選んで練習しよう。</div> <p>3 準備運動・コーディネーション。 (準備運動+くの字、Sの字、ラディアン)</p> <p>4 場の準備をする。</p> <p>5 感覚づくりの運動をする。 (わくわくタイム)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3回腰上げ→前転→うさぎ跳び。</li> <li>・ 跳び上がり→跳び下り→アザラシ。</li> <li>・ またぎ乗り→またぎ下り→走る。</li> </ul>		<p>○ホワイトボードを用いて、視覚的にも本時の課題を把握しやすいようにする。</p> <p>T2 準備運動、コーディネーションで巡視し助言を行う。</p> <p>○それぞれの用具を用意するかを決めておき、素早く準備できるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ (跳び箱(3段)+マット+踏切板) 6セット</li> </ul> <p>T2 準備の際、安全に注意しマットを運ぶための支援を行う。</p> <p>○あごを引いてへそを見る。 →足を閉じてすぐ引き寄せる。</p> <p>○両足でしっかり踏み切る。膝を深く曲げる →腕をしっかり伸ばす。</p> <p>○腕を強く押す。</p> <p>T2 6つある場を移動し、補助や声掛けを行う。</p>			
展開 25分	<p>6 ジャンピングタイム (繰り返し系の技の練習)</p> <p>開脚跳び、かかえこみ跳びの中から、めあてに合った技の練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 開脚跳び(跳び箱5段)</li> </ul>	<p>6 ローリングタイム (回転系の技の練習)</p> <p>台上前転、膝伸台 台上前転の中からめあてに合った技の練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 台上前転(跳び箱3段 跳び箱2)</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">○ワークシート(掲示)を用いて、ポイントが分かりやすいようにする。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">T2 修行場で児童のサポートをし、ジャンピングタイム・ローリングタイムの場に促す。</div> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>○踏切(ドン) 着手(バン) 着地(トン)でリズムを作るように声掛けを行う。</p> <p>○手を強くはじき、前を見るように声を掛ける。</p> <p>○着手の位置が跳び箱の奥でそろい、前を向くよ</p> </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>○踏切で腰が上がるよう上に飛ぶように声を掛ける</p> <p>○着手の位置が跳び箱の手前でそろい、へそを見るように声掛けをする。</p> <p>○丸くなるイメージをもつように声を掛ける。</p> </td> </tr> </table>		<p>○踏切(ドン) 着手(バン) 着地(トン)でリズムを作るように声掛けを行う。</p> <p>○手を強くはじき、前を見るように声を掛ける。</p> <p>○着手の位置が跳び箱の奥でそろい、前を向くよ</p>	<p>○踏切で腰が上がるよう上に飛ぶように声を掛ける</p> <p>○着手の位置が跳び箱の手前でそろい、へそを見るように声掛けをする。</p> <p>○丸くなるイメージをもつように声を掛ける。</p>
<p>○踏切(ドン) 着手(バン) 着地(トン)でリズムを作るように声掛けを行う。</p> <p>○手を強くはじき、前を見るように声を掛ける。</p> <p>○着手の位置が跳び箱の奥でそろい、前を向くよ</p>	<p>○踏切で腰が上がるよう上に飛ぶように声を掛ける</p> <p>○着手の位置が跳び箱の手前でそろい、へそを見るように声掛けをする。</p> <p>○丸くなるイメージをもつように声を掛ける。</p>					

	<p>・開脚跳び（跳び箱4段）</p> <p>・かかえこみ跳び（跳び箱3段）</p>	<p>段)</p> <p>・膝伸台上前転（跳び箱3段）</p> <p><b>【修行場】</b></p> <p>・台上前転の初期練習（赤マット×2+マット・跳び箱×2+マット）</p>	<p>うに声掛けをする。</p> <p>○踏切後、腰を少しずつ上げるように声を掛ける。</p> <p>○膝を素早く引き付けるように声を掛ける。</p> <p>△怖い場合は跳び箱の上に立つ練習をさせ、膝を素早く引き付けるイメージをもたせる。</p>	<p>△回る前に腰を上げるジャンプの練習をしてから、台上前転に臨ませる。</p> <p>○足と腰を高く上げるように声を掛ける。</p> <p>○おへそを見てあごを引く。</p> <p>○腰を上げる。</p>
<p>ま と め 8分</p>	<p>7 整理運動をする。</p> <p>8 学習の振り返りをする。</p> <p>・本時で見付けた課題を振り返り、次時のめあてを書く。</p> <p>9 片付けをする。</p> <p>10 集合。</p>	<p><b>T2</b> 整理運動で巡視し助言を行う。</p> <p>○各グループを回り、声を掛ける。</p> <p>△次回のめあてを立てられない児童には、ポイントを参考にどのように書けばよいかアドバイスをする。</p> <p>◇自己の能力に適した場を選び、その技の課題を見付けることができる。<b>【行動観察・ワークシート】</b></p> <p>○役割を決め、安全に片付けができるようにする。</p>		

半分の時間で交換する。

◇約束を守り、友達と助け合って技を練習しようとしている。**【行動観察】**

(3) 授業観察の視点

- 達成感をもたせるための2つの場に分けた練習方法は適切だったか。
- 学び合いをするための伝えあいの方法は適切であったか。